

News Release

各位

2022年10月27日
丸藤シートパイル株式会社

『建設技術展 2022 近畿』 出展のお知らせ

«2022年11月9日(水)、10日(木) 両日開催»

弊社は、2022年11月9日(水)、11月10日(木)の2日間、インテックス大阪 6号館 Cゾーンにて開催される、『建設技術展 2022 近畿』に出展いたします。

弊社ブースでは、セメントミルク・発生残土処分不要で環境負荷とコストの低減を実現した「RG工法（油圧パイプロ併用圧入工法）」をはじめ、システム仮橋「ランドクロス」シリーズで好評を頂いております「Hyper 栈橋」、現場のIOT化をサポートする「瞬示」などの展示を予定致しております。（弊社ブース番号は「203」となります）

【開催概要】

名称：建設技術展 2022 近畿 公式 HP：<https://www.kyokai-kinki.or.jp/kengi2022/top.html>
主催：日刊建設工業新聞社（一社）近畿建設協会
会期：2022年11月9日（水）9：30～17：00 / 11月10日（木）9：30～16：30
会場：インテックス大阪 6号館 Cゾーン
会場住所：〒559-0034 大阪市住之江区南港北1丁目5-102
入場料：無料

以上

【本件に関するお問い合わせ先】 丸藤シートパイル株式会社

【商品】

工事統括部 施工計画 G (RG工法)：山口 (智) TEL：03-3242-7662 MAIL：t-guchi@mrjf.co.jp

技術開発部 橋梁 G (Hyper 栈橋・ランドクロス)：佐々木 TEL：03-3639-7658 MAIL：m-sasaki@mrjf.co.jp

技術開発部 商品開発 G (エムクロス、瞬示)：内山 TEL：03-3639-7688 MAIL：utiyama@mrjf.co.jp

【営業】 関西支店：松井 TEL：06-4707-6633 MAIL：t-matsui@mrjf.co.jp

【展示会事務局】 経営企画部：工藤 TEL：03-3639-7661 MAIL：h.kudo@mrjf.co.jp

■丸藤シートパイル展示概要

ORG 工法（油圧バイブロ併用圧入工法）

【製品の特長】

環境に配慮しつつコストを低減する伸縮型リーダーと油圧可変式超高周波バイブロを備えた杭打機

- 打設速度が早く施工効率が良い
 - ・ 油圧可変式超高周波バイブロ（最大起振力 1500KN）と伸縮リーダーの圧入力（140KN）を併用し硬質地盤にも打設可能
 - ・ 起振力を 50kN 毎に細かく調整でき、地層に合わせた施工が可能
- 高い施工精度と安定性
 - ・ 伸縮リーダーに装備されている自動垂直制御装置により、リアルタイムに精度確認が可能
 - ・ 杭打機移動時は低重心化により、走行時の安定性が UP
- CO₂削減、セメントミルク・発生残土処分が不要 ⇒ 環境配慮・コスト削減



OHyper 棧橋（渇水期仮棧橋）/ランドクロスシリーズ

従来の H700~H900 桁に代わる新世代の「仮棧橋桁」

- 比較的短支間・短期間条件となる渇水期内工事用仮棧橋で力を発揮
 - 【リース可能】 上部工は部材も含めて全てリース可能 ⇒ 短期間使用に最適
 - 【高強度】 H900 桁に対し約 1.4 倍の曲げ強度を実現 ⇒ スパンを飛ばして杭本数を削減
 - 【自由な支間設定】 主桁ジョイント機構を標準装備 ⇒ 使用条件に合わせた自由な支間設定可能
 - 【簡単組立】 材料システム化で簡単急速施工を実現 ⇒ 工期短縮を実現
 - 【安定品質】 材料強度低下を招く繰り返し溶接加工が不要 ⇒ 高品質維持で安全施工継続



○ランドクロスシリーズ（仮橋・仮栈橋）

●用途・使用条件に合わせた最適タイプをご用意

- 【迂回路仮橋】 橋長・自動車荷重に合わせ、「钣桁タイプⅠ・Ⅱ」の2タイプをご用意
- 【大型重機作業】 長支間で最大 200 t クローラ作業を実現。「ストロングタイプ」
- 【超長支間確保】 最大 60mの超長支間を実現。業界最軽量の「トラスタイプ」
- 【歩道仮橋】 端部すりつけ高わずか 150mm。周辺環境にマッチする「歩道タイプ」
- 【渇水期仮栈橋】 渇水期内施工に最適。加工不要で簡単組立の「Hyper 栈橋」

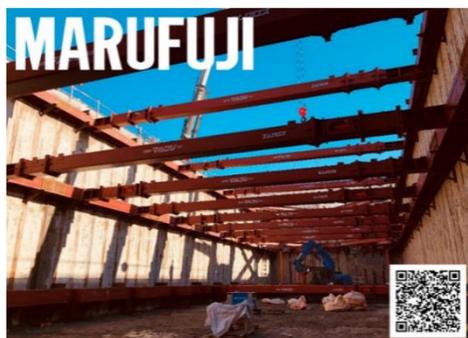


○OM'cross（エムクロス）

●たわみ削減技術を導入した次世代型長支間対応切梁、高強度角型鋼管を使用することにより座屈を低減

【製品特徴】

- ・切梁自重による想定たわみ量を、予めキャンバーを導入することにより、架設時たわみを低減する「プレ・キャンバー」（特許取得）を導入
- ・高強度材：UBCR365 を使用し、軽量化と強度向上を実現
- ・15m～20m のスパンを中間杭なしで施工可能となり、安全性・経済性に優れる



○瞬示【Shunji】

●バッテリー駆動タイプの無線圧力計を使用する事で、油圧ジャッキに作用する圧力(≒切梁軸力)を直接計測し、クラウドサーバーへデータを送信

【製品特徴】

- ・油圧の配管、電源の配線手間を抑え、高所での危険な管理作業不要
- ・計測データは時刻歴と共に自動保存され、データ管理業務も簡易に行う事が可能
- ・管理値超過時にアラートメールの送信が可能
- ・現場に合わせて管理画面を構成可能

